

ABiLINX 2124

簡易設定マニュアル



HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.3 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

改版履歴

第 1 版	2012 年 10 月 05 日	作成	新規作成
第 1.1 版	2014 年 01 月 28 日	改版	お問い合わせ先の電話番号を変更
第 1.2 版	2018 年 02 月 26 日	改版	子機として利用する機器を 2504A に変更
第 1.3 版	2018 年 06 月 21 日	改版	推奨設定例等を追記

ご使用上の注意事項

- 本製品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
- 本製品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプタは本製品専用となります。他の機器には接続しないでください。また、付属品以外のACアダプタを本製品に接続しないでください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1	本マニュアルにつきまして	6
2	必要最低限の設定	6
3	ABiLINX 2124 の設定	6
4	ABiLINX 2504A の設定	11
5	リンクの確認	12
6	推奨設定例	14
7	ABiLINX 2124 設定例	15
8	ABiLINX 2504A 設定例	18
9	HUB の設定例	22
10	よくあるトラブルとその対応について	24
11	製品保証	26

1 本マニュアルにつきまして

本マニュアルでは、ABiLINX 2124 に ABiLINX 2504A を組み合わせて使用する場合で、モデム間で通信が可能となる必要最低限の設定と推奨設定例を説明しております。

その他詳細な設定方法につきましては、別途『ABiLINX 2124 取扱説明書』をご参照下さい。

2 必要最低限の設定

機器同士を組み合わせでご使用いただく際には、以下の手順に沿って機器の設定を行って下さい(それぞれの機器に設定を投入されている場合、工場出荷時の設定に戻してから手順を行って下さい)。

＜ABiLINX 2124 の設定＞

- 1) 変調方式、リンク速度、ノイズマージン等のプロファイル設定を行います。
- 2) ボンディング(ペア数の指定)の設定を行います。
- 3) 作成したプロファイルを、指定したペアに割り当てる設定をします。

＜ABiLINX 2504A の設定＞

- 1) 変調方式、リンク速度、ボンディング等のプロファイル設定を行います。

3 ABiLINX 2124 の設定

Configuration → SHDSL → Profile ⇒プロファイルの設定を行う。手順(1)～(2)参照。

Configuration → SHDSL → Bonding ⇒ボンディングの設定を行う。手順(3)参照。

Configuration → SHDSL → Port Setup ⇒プロファイルの割り当てを行う。手順(4)参照。

Configuration → VLAN → VLAN Setup ⇒子機間通信可能となる任意の設定。

手順(5)参照。

System → Save Configuration ⇒追加した設定を保存します。手順(6)参照。

2124 が 2504A と SHDSL のリンクを確立するための設定を行います。SHDSL の設定の手順は、以下の通りになります。

(1) まず、『Configuration → SHDSL → Profile』の順にクリックし、プロファイルの作成をします。①『Create』をクリックして下さい。

Display SHDSL port profile								
	Profile Name	TCPAM Mode	Min Rate(bps)	Max Rate(bps)	Line Probe	Target Margin(dB)	PSD	Region
ⓐ	Default	AUTO-TCPAM	192000	5696000	Enable	6	SYMETRIC	Region 1

①

(2) 以下のフィールドに、それぞれ必要な項目を入力・設定します。下記画像の設定は、機器同士の距離の長さによらずリンクアップが可能な設定例です。詳細説明は、『ABiLINX 2124 取扱説明書』をご参照下さい。入力が完了したら、②『Apply』をクリックします。

Create Profile	
Profile Name	Hytec
Subopt Mode	AUTO-TCPAM
Min Rate	192000
Max Rate	5696000
Line Probe	☒ Enable ☐ Disable
Target Margin	16 (-10 ~ 21 dB)
PSD	☒ SYMETRIC
Region	☒ Region 1 ☐ Region 2

Notes:

- 4-TCPAM: 192kbps~ 2496bps
- 8-TCPAM: 192kbps~ 3840bps
- 16-TCPAM(SHDSL Standard): 192kbps~ 3840kbps
- 32-TCPAM(SHDSL.bis Standard): 768kbps~ 5696kbps
- 64-TCPAM: 192kbps~ 11328kbps
- 128-TCPAM: 192kbps~ 15336kbps
- AUTO-TCPAM: 192kbps~ 5696kbps

②

※ABiLINX2124 に ABiLINX 2504A を組み合わせて使用する場合は、Target Margin の値を 16dB に設定して下さい。

(3) 次に、『Configuration → SHDSL → Bonding』の順にクリックし、SDHSL のペア数を決定します。DSLAM は、計 6 つのチップ (G1～G6) を搭載しており、1 つのチップにつき最大 4 ペアまでのボンディング (DSL を複数束ねてペアとして扱うこと) が可能です。入力が完了したら、③『Apply』をクリックします。

※下図は、4 ペア全てを束ねて (4 ペアボンディング) 使用する場合。

Modify SHDSL bonding																								
Group	G1				G2				G3				G4				G5				G6			
Port	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24

Note:

— : Single Pair

— : Two-Pairs Bonding: 1st and 2nd ports of DSL Group x

— : Two-Pairs Bonding: 3rd and 4th ports of DSL Group x

— : Three-Pairs Bonding: 4th ports of DSL Group x

— : Four-Pairs Bonding: 1st, 2nd, 3rd and 4th ports of DSL Group x

Bonding Profile

DSP name:

G1 ▼

Bonding mode:

- ☐ Single, Single, Single, Single
- ☐ Two Pairs bonding, Single, Single
- ☐ Two Pairs bonding, Two Pairs bonding
- ☐ Three Pairs bonding, Single Pairs
- ☒ Four Pairs bonding

Apply

③

(4)『Configuration → SHDSL → Port Setup → Port Setup』の順にクリックし、作成したプロフィールを指定したペアに割り当てます。前手順で設定したペア数は『Wire Pair』の項目に表示され、設定したペアが複数(ボンディング)の場合は、『TC_Mode』の2ペア目以降の設定欄がグレーに反転し、1ペア目の設定欄でボンディングの設定を行います。入力が完了したら、④『Apply』をクリックします。

Attachment DSL port to SHDSL profile

Port ID	Link Control	SHDSL Profile	TC_Mode	Wire Pair	TCPAM Mode	Min Rate (kbps)	Max Rate (kbps)	Line Probe	Target Margin (db)	PSD	Region
1	Enable	Hytec	EFM	4-Pair	64-TCPAM	192	11328	Enable	16	SYMETRIC	Region 1
2	Enable	Hytec	EFM	-	64-TCPAM	192	11328	Enable	16	SYMETRIC	Region 1
3	Enable	Hytec	EFM	-	64-TCPAM	192	11328	Enable	16	SYMETRIC	Region 1
4	Enable	Hytec	EFM	-	64-TCPAM	192	11328	Enable	16	SYMETRIC	Region 1

～中略～

23	Enable	Default	EFM	1-Pair	AUTO-TCPAM	192	5696	Enable	6	SYMETRIC	Region 1
24	Enable	Default	EFM	1-Pair	AUTO-TCPAM	192	5696	Enable	6	SYMETRIC	Region 1

apply

④

(5) 子機間通信可能となる設定を行います。本設定は任意となるため、不要な場合は次項(6)に進み設定の保存をしてください。

『Configuration → VLAN → VLAN Setup』の順にクリックし、初期値の VLAN1 プロファイルを修正します。『Modify』をクリック後に、

System		Configuration/VLAN/VLAN Setup						
Configuration		Display all bridge VLAN manager info						
SHDSL		Display all bridge VLAN manager info						
Ethernet								
Bridge Features								
VLAN								
• VLAN Setup								
• VLAN Attachment								
Classifier								
QoS								
Protocol Based VLAN								
Advanced								
Status								
Maintenance								
VID	Mode	Flood	Unknown MAC	Unknown MAC	Broadcast	Broadcast	Port	
		Enable	CIR(bps)	LBS(ms)	CIR(bps)	LBS(ms)	Isolation	
1	1-n	Enable	1000000	500	1000000	500	Enable	

Page: 1
Delete Modify Create

『Isolation』フィールドにて、『Disable』を選択後、⑤『Apply』をクリックします。

Configuration/VLAN/VLAN Setup

VLAN Setup

Modify VLAN

VID	1
Flood enable	Enable ▼
Unknown CIR(bps)(100~ 1073741824(1Gbps))	1000000
Unknown LBS(bps)(100~ 1073741824(1Gbps))	500
Broadcast CIR(bps)(100~ 1073741824(1Gbps))	1000000
Broadcast LBS(bps)(100~ 1073741824(1Gbps))	500
Isolation	Disable ▼

Back
Undo
Apply

(6)『System → Save Configuration』の順にクリックし、『Commit』をクリックして設定の保存をします。

System

- System Information
- System Reboot
- Save Configuration**
- Backup/Restore
- Firmware Update
- Management Users
- System Log
- Image List/Selection

Configuration

System/Save Configuration

Save Configuration

Save ConfigBackup Configuration

Press the button below to save the configuration.

Commit

4 ABiLINX 2504A の設定

SHDSL → SHDSL Configuration and Status ⇒SHDSL のプロファイルの設定を行う。
手順(1)参照。

System → Save Config ⇒追加した設定を保存します。手順(2)参照。

(1)2504A が 2124 と SHDSL のリンクを確立するための設定を行います。2124 で機器同士の距離の長さによらずリンクアップが可能な設定例どおりの設定を行った場合は、原則として 2504A の工場出荷状態にてリンクアップが可能です(手順(1)及び(2)の設定は不要です)。

2124 で行った SHDSL プロファイルの『TCPAM Mode』の値に応じて、2504A の『PAM Mode』を変更します。対応表は以下のとおりです。その他のパラメータの詳細説明は、『ABiLINX 2504A 取扱説明書』をご参照下さい。入力が完了したら、①『Apply』をクリックします。

2124	2504A
128-TCPAM	AUTO_EXT_128_PAM
64-TCPAM	AUTO_EXT_PAM
AUTO-TCPAM	AUTO_EXT_PAMまたは16_32Auto
32-TCPAM	16_32Auto
16-TCPAM	16_32Auto



SHDSL EFM 2504A

Item	Value	Note
WireMode	EFM_Bonding ▼	The system will do "save and restart the system" after

Apply

Item	Value	Note
Unit ID	CPE ▼	
PAM Mode	16_32Auto ▼	Help Table for DSL SPEED
MaxLineRate	5696 kbps	256 kbps <= MaxLineRate(n*64k) <= 113
Annex	ANNEX_A ▼	
PBO	PBO_NORMAL ▼	
PBOValue	-0dB ▼	PBO value should be 0dB when PBO mo Decrease TX power may make reachable Increase TX power may influence neighb
Target Margin	16	(Range: -10 to 21)

Apply ①

(2)『System → Save Config』の順にクリックし、②『Save』をクリックして設定の保存をします。



SHDSL EFM 2504A

Item	Value	Note
Unit ID	CPE ▼	
PAM Mode	16_32Auto ▼	Help Table for DSL SPEED
MaxLineRate	5696 kbps	256 kbps <= MaxLineRate(n*64k) <= 113
Annex	ANNEX_A ▼	
PBO	PBO_NORMAL ▼	
PBOValue	-0dB ▼	PBO value should be 0dB when PBO mo Decrease TX power may make reachable Increase TX power may influence neighb
Target Margin	16	(Range: -10 to 21)

Apply ①

Save configuration

Confirm Save

Please confirm that you wish to save the configuration.

There will be a delay while saving as configuration information is written to

Save ②

5 リンクの確認

Status → SHDSL Port Status (ABiLINX 2124 の場合)

SHDSL → SHDSL Configuration and Status (ABiLINX 2504A の場合)

⇒SHDSL に関連する情報を、ポートごとに表示します。リンクの確認は、主に、Link Status、SNR、および Loop Attenuation 等の項目から行います。それぞれの機種でリンクを確認する部位は、下図の枠で囲んだ項目となります(枠で囲んだ項目の詳細な説明につきましては、それぞれの機種の取扱説明書を参照して下さい)。

<ABiLINX 2124>

Maintenance/SHDSL Port Status

G.SHDSL Port Status

G.SHDSL Port Status

Port ID	Wire Pair	Link Status	Actual TCPAM	SNR(db) CO/RT	Attn.(db) CO/RT	Actual Rate(kbps)	Vendor_ID	Vendor_model	Vendor_serial
DSL-1	1-Pair	Up	32-TCPAM	19/18	1/1	5696			

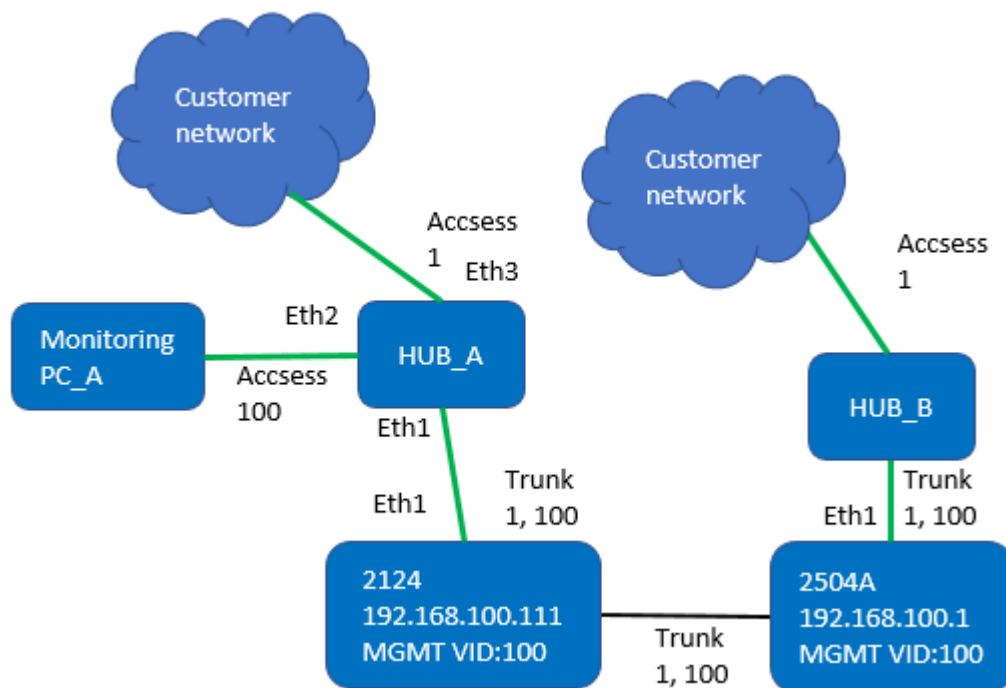
<ABiLINX 2504A>

Status:

Item	Value
LinkStatus	Showtime
Data Rate: LinkNo 0	5696 kbps
Data Rate: LinkNo 1	0 kbps
Data Rate: LinkNo 2	0 kbps
Data Rate: LinkNo 3	0 kbps
Loop Attenuation: LinkNo 0	1
SNR: LinkNo 0	18
ES: LinkNo 0	0
SES: LinkNo 0	0
CV: LinkNo 0	0
LOSWS: LinkNo 0	0
UAS: LinkNo 0	0

6 推奨設定例

モデム間転送のデータによる管理用のデータへの影響を防ぐため、それぞれへ異なる VLAN を設定します。構成例は以下のとおりです。前述の「[2 必要最低限の設定](#)」を行っていただいていることを前提とします。本設定例では VLAN 設定が可能なハブを、最低一台ご用意いただく必要があります。



＜ABiLINX 2124 の設定＞

- 1) VLAN 設定を行います。

＜ABiLINX 2504A の設定＞

- 1) Management VLAN 設定を行います。
- 2) VLAN 設定を行います。
- 3) マルチキャスト透過設定を行います。

＜HUB の設定＞

- 1) VLAN 設定を行います。ここでは例として弊社取扱いの L2SW による設定例を記載します。

7 ABiLINX 2124 設定例

(1) まず、『Configuration→VLAN→VLAN Setup』の順にクリックし、以下のように VLAN100 を作成します。

Configuration/VLAN/VLAN Setup

VLAN Setup

Create VLAN

VID: 100 (1 ~ 4093)

Mode: 1-n

Unknown CIR(bps)(100~ 1073741824(1Gbps)): 10000000

Unknown LBS(bps)(100~ 1073741824(1Gbps)): 500

Broadcast CIR(bps)(100~ 1073741824(1Gbps)): 10000000

Broadcast LBS(bps)(100~ 1073741824(1Gbps)): 500

Isolation: Enable

Buttons: Back, Undo, **Apply**

(2) 『Configuration→VLAN→VLAN Attachment』の順にクリックし、VLAN1 を修正します。

VLAN1 を選択して、『Modify』をクリック後、以下のように ETH-01 と ETH-02 の Untagged チェックボックスからチェックをはずし、『Apply』をクリックします。

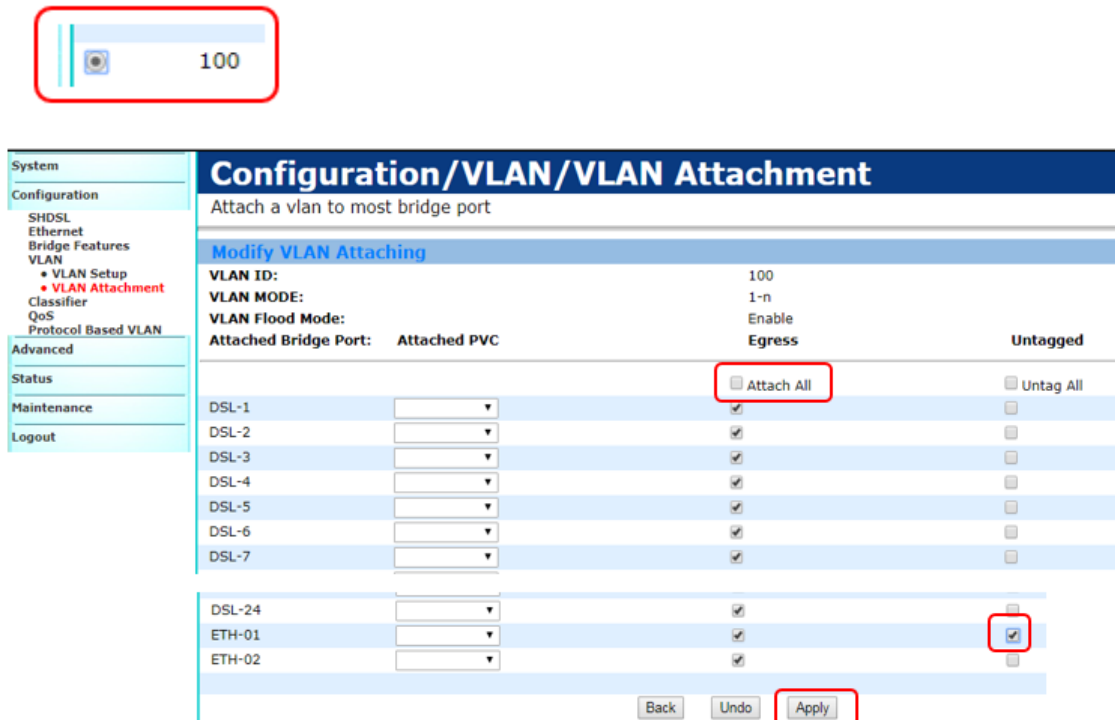
VLAN Attachment

VID: 1

Port	Mode	Untagged	Tagged
DSL-8		☒	☒
DSL-9		☒	☒
DSL-10		☒	☒
DSL-11		☒	☒
DSL-12		☒	☒
DSL-13		☒	☒
DSL-14		☒	☒
DSL-15		☒	☒
DSL-16		☒	☒
DSL-17		☒	☒
DSL-18		☒	☒
DSL-19		☒	☒
DSL-20		☒	☒
DSL-21		☒	☒
DSL-22		☒	☒
DSL-23		☒	☒
DSL-24		☒	☒
ETH-01		☐	☒
ETH-02		☐	☒

Buttons: Back, Undo, **Apply**

(3) 『Configuration→VLAN→VLAN Attachment』に戻りますので、次は VLAN100 を修正します。VLAN100 を選択して、『Modify』をクリック後、以下のように Egress の Attach All チェックボックスと ETH-01 の Untagged チェックボックスにチェックを入れ、『Apply』をクリックします。



Configuration/VLAN/VLAN Attachment

Attach a vlan to most bridge port

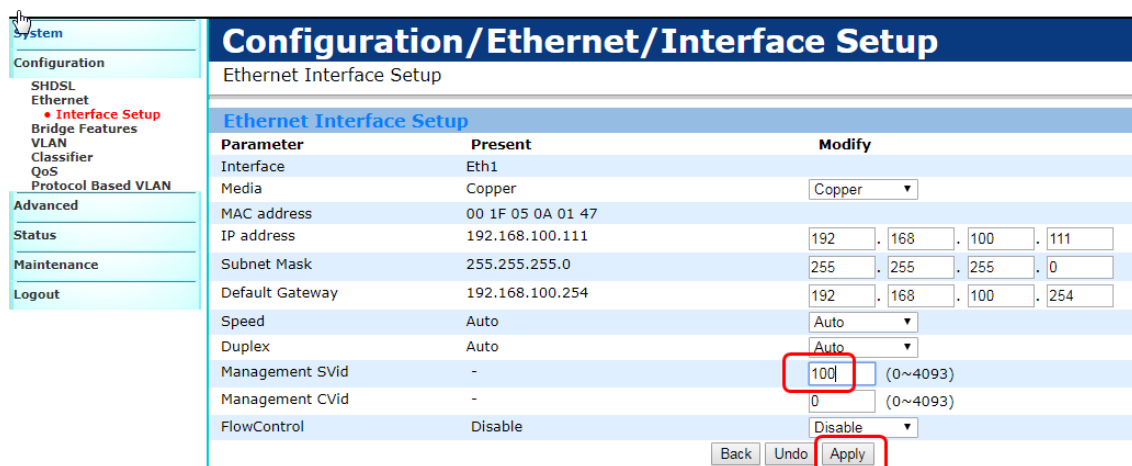
Modify VLAN Attaching

VLAN ID: 100
VLAN MODE: 1-n
VLAN Flood Mode: Enable

Attached Bridge Port	Attached PVC	Egress	Untagged
DSL-1		☒ Attach All	☐ Untag All
DSL-2		☒	☐
DSL-3		☒	☐
DSL-4		☒	☐
DSL-5		☒	☐
DSL-6		☒	☐
DSL-7		☒	☐
DSL-24		☒	☐
ETH-01		☒	☒
ETH-02		☒	☐

Back Undo **Apply**

(4) 『Configuration→Ethernet→Interface』の順にクリックし、Eth1 を選択して、『Modify』をクリック後、以下のように Management SVid に 100 を入力し、『Apply』をクリックします。



Configuration/Ethernet/Interface Setup

Ethernet Interface Setup

Ethernet Interface Setup

Parameter	Present	Modify
Interface	Eth1	
Media	Copper	Copper
MAC address	00 1F 05 0A 01 47	
IP address	192.168.100.111	192 . 168 . 100 . 111
Subnet Mask	255.255.255.0	255 . 255 . 255 . 0
Default Gateway	192.168.100.254	192 . 168 . 100 . 254
Speed	Auto	Auto
Duplex	Auto	Auto
Management SVid	-	100 (0~4093)
Management CVid	-	0 (0~4093)
FlowControl	Disable	Disable

Back Undo **Apply**

(5) 『Configuration→Bridge Features→Bridge Configuration』の順にクリックし、ETH-01 を選択して、『Modify』をクリック後、以下のように Default SVID に 100 を入力し、『Modify』をクリックします。

Configuration/Bridge Features/Basic Setup

Modify Bridge Info

Modify Bridge Setup

Port ID: ETH-2

Admin Status: ☐ Down ☒ Up

Accept Frame Type: ☒ All ☐ Tagged ☐ Untagged

Default SVID: 100

Default Priority: 0

Default Priority Mode: ☒ Untagged ☐ All

Learning Mode: ☒ Enable ☐ Disable

Modify

Port Type: Uplink

(6) 『System→Save Configuration』の順にクリックし、以下のように Commit をクリックします。
“Configuration saved”と表示されれば、設定の保存は完了です。

HYTEC INTER Co.,Ltd.

System/Save Configuration

Save Configuration

Save ConfigBackup Configuration

Press the button below to save the configuration.

Commit

8 ABiLINX 2504A 設定例

(1) まず、『Bridge→Management VLAN→Create the Management VLAN』の順にクリックし、以下のように VLAN100 が紐付いた管理 VLAN を作成します。

ABiLINX **SHDSL EFM 2504A**

Create the Management VLAN:

Name	Value
Name	ManagementVLAN
Vlan Id	100
Fdb Name	ManagementVLANFDB

OK Reset Cancel

(2) 『Bridge→Management VLAN→create Management IP』の順にクリックし、以下のように VLAN100 が紐付いた管理 VLAN 用 IP アドレスを作成します。

ABiLINX **SHDSL EFM 2504A**

WAN connection: Bridge Vlan A

Description: Management VLAN IP

Vid: 100 ▼

☐ Use DHCP

☒ IP address: 192.168.100.1

☐ Enable NAT on this interface

Apply

(3) 『Bridge→VLAN Configuration』の順にクリックし、以下のように DefaultVLAN の untagged ポートにある Edit をクリックします。

ABiLINX SHDSL EFM 2504A

VLAN Group Configuration

VLANs:

Name	VLAN Id	FDB Name	Tagged Ports	Untagged Ports	Edit Tagged Ports	Edit Untagged Ports	Delete?
DefaultVlan	1	DefaultFdb	None	eth1,eth2,eth3,eth4,pvc0	Edit..	Edit..	☐
OK Reset							
ManagementVLAN	100	ManagementVLANFDB	None	None	Edit..	Edit..	☐
OK Reset							

(4) 以下のように DefaultVlan の untagged ポートから、pvc0 と Eth1 ポート(2504A 配下の HUB と接続予定)を削除します。※複数のポートを同時に設定することはできません。一つ一つ設定して下さい。

ABiLINX SHDSL EFM 2504A

VLAN Untagged Ports:

Name	Delete?	Action
eth1	☐	OK Reset
eth2	☐	OK Reset
eth3	☐	OK Reset
eth4	☐	OK Reset
pvc0	☒	OK Reset

(5) DefaultVLAN の tagged ポートにある Edit をクリックし、以下のように DefaultVlan の tagged ポートに pvc0 と Eth1 ポートを追加します。※複数のポートを同時に設定することはできません。一つ一つ設定して下さい。

(6) ManagementVLAN の tagged ポートにある Edit をクリックし、DefaultVLAN と同様に ManagementVLAN の tagged ポートに pvc0 と Eth1 ポートを追加します。※複数のポートを同時に設定することはできません。一つ一つ設定して下さい。完成形は以下のとおりです。

Name	VLAN Id	FDB Name	Tagged Ports	Untagged Ports	Edit Tagged Ports	Edit Untagged Ports
DefaultVlan	1	DefaultFdb	pvc0,eth1,	eth2,eth3,eth4,	Edit..	Edit..
ManagementVLAN	100	ManagementVLANFDB	pvc0,eth1,	None	Edit..	Edit..

(7) 『Bridge→Interface Configuration』の順にクリックし、以下のように pvc0 と Eth1 ポートの PVID をそれぞれ 100 に変更します。※複数のポートを同時に設定することはできません。一つ一つ設定して下さい。



SHDSL EFM 2504A

- Status
- System
- Configuration
- QoS
- Security
- IP Routes
- Bridge**
 - Global Configuration
 - Interface Configuration
 - VLAN Configuration
 - Management VLAN
 - STP Status
 - Source-based Unicast
 - Filtering Entry Configuration
 - Destination-based Unicast
 - Filtering Entry Configuration
 - Multicast Filtering Entry
 - Forward All/Unregistered Configuration

Bridge Interface Configuration

Name	Filter Type	PVID	Frame Access Type	Ingress Filtering	User Priority	Transport	Priority Map	Priority Map Vlan	Delete?	
eth1	All	1	ALL	false	0	eth1	Priority Map..	Priority Map Vlan..	☐	OK
eth2	All	1	ALL	false	0	eth2	Priority Map..	Priority Map Vlan..	☐	OK
eth3	All	1	ALL	false	0	eth3	Priority Map..	Priority Map Vlan..	☐	OK
eth4	All	1	ALL	false	0	eth4	Priority Map..	Priority Map Vlan..	☐	OK
pvc0	All	100	ALL	false	0	rfc1483-0	Priority Map..	Priority Map Vlan..	☐	OK

(8) 『Bridge → Forward All/Unregistered Entries』の順にクリックし、以下のように FWDALLMCAST 項目の Egress Ports の Edit をクリックします。



SHDSL EFM 2504A

- Status
- System
- Configuration
- QoS
- Security
- IP Routes
- Bridge**
 - Global Configuration
 - Interface Configuration
 - VLAN Configuration
 - Management VLAN
 - STP Status
 - Source-based Unicast
 - Filtering Entry Configuration
 - Destination-based Unicast
 - Filtering Entry Configuration
 - Multicast Filtering Entry
 - Forward All/Unregistered Configuration

Forward All/Unregistered Entries

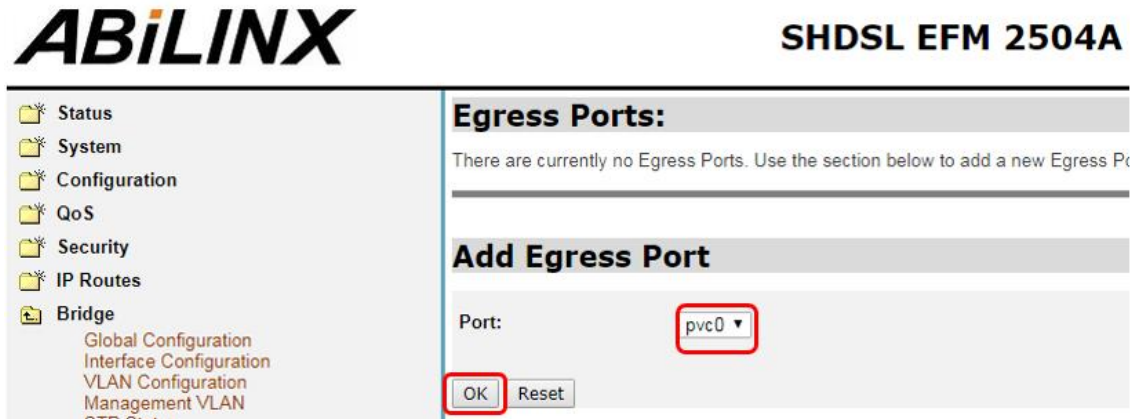
FDB: DefaultFdb

Name	MAC Address	Egress Ports	Edit Egress Ports
FWDALLMCAST	00:00:00:00:00:FE	None	Edit..
FWDUNREGMCAST	00:00:00:00:00:FC	eth1,eth2,eth3,eth4,pvc0,	Edit..

FDB: ManagementVLANFDB

Name	MAC Address	Egress Ports	Edit Egress Ports
FWDALLMCAST	00:00:00:00:00:FE	None	Edit..

(9) 以下のように FWDALLMCAST の Egress Ports に pvc0 と Eth1 ポートを追加します。※複数のポートを同時に設定することはできません。一つ一つ設定して下さい。



(10) 『System→Save config』の順にクリックし、以下のように Save をクリックします。“Saved Configuration/...”と表示されれば、設定の保存は完了です。



9 HUB の設定例

(1) VLAN 設定を行います。ポート1は VLAN1と100の Trunk ポート、ポート2は VLAN100 の Access ポート(管理用 VLAN)、ポート3は VLAN1 の Access ポート(データ用 VLAN)の設定を行います。本設定例では KGD-802-B-P を利用します。



KGD-802-B 8 Port Gigabit Switch

Configuration

 System
 Ports
 VLAN
 LACP
 RSTP
 802.1X
 IGMP Snooping
 Mirroring
 QoS
 Storm Control
 Multi Ring

Simplified Tag-based VLAN Mode

VLAN Groups
VLAN Per Port

VLAN Groups

Group	VID	Member Ports								Source Port Check
		1	2	3	4	5	6	7	8	
1	1	☒	☐	☒	☒	☒	☒	☒	☒	Disable ▼
2	100	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Disable ▼
3	3	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Disable ▼
4	4	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Disable ▼
5	5	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Disable ▼
6	6	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Disable ▼
7	7	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Disable ▼
8	8	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Disable ▼



KGD-802-B 8 Port Gigabit Switch

Configuration

 System
 Ports
 VLAN
 LACP
 RSTP
 802.1X
 IGMP Snooping
 Mirroring
 QoS
 Storm Control
 Multi Ring

Simplified Tag-based VLAN Mode

VLAN Groups
VLAN Per Port

VLAN Per Port

Port	Ingress		Egress	
	PVID	Drop Untag	Egress Tagging	Untagged VID
1	100	Disable ▼	UnTag ▼	1
2	100	Disable ▼	UnTag ▼	1
3	1	Disable ▼	UnTag ▼	1
4	1	Disable ▼	UnTag ▼	1
5	1	Disable ▼	UnTag ▼	1
6	1	Disable ▼	UnTag ▼	1
7	1	Disable ▼	UnTag ▼	1
8	1	Disable ▼	UnTag ▼	1

10 よくあるトラブルとその対応について

◆ DSLAM の電源が入らない

- 1) DSLAM の AC 電源ケーブルと電源が正しく接続されていることを確認してください。
- 2) DSLAM 背面の電源スイッチが ON になっているかどうかを確認してください。
- 3) 適切な電圧が供給されているかを確認してください。

◆ SHDSL リンクが確立しない。

- 1) 各コネクタとケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 2) モデムの CO(親機)・CPE(子機)の設定が正しいかを確認してください。DSLAM は常に CO として子機と接続されます。また、CO 同士、CPE 同士では SHDSL リンクを確立することができません。
- 3) 前面パネルにある DSL ランプが定期的に点滅しており、10 分以上点滅の速度に変化が見られない場合、対向のモデムを認識できていません。各コネクタとケーブルの接続、モデムの設定に問題があるか、または、使用している回線に問題が発生している可能性があります(対向のモデムとネゴシエーションをしている間、DSL ランプは高速に点滅します)。
- 4) 複数ペア(ボンディング)を使用している場合、特にケーブルの接続を確認してください。それぞれの回線で配線が正しく接続されているかを確認してください。
- 5) サージプロテクター(避雷器)が設置されている場合、取り外してからリンクを確認してください。SHDSL が使用する周波数帯域をカットしている可能性があります。

◆ SHDSLリンクが安定しない

- 1) 回線分岐(ブリッジタップ)を減らすことで改善する可能性があります。
- 2) SHDSLリンクが安定しない、またはリンクに時間がかかる場合、リンク速度の最大値を下げることで改善する可能性があります。リンク速度の最大値を変更しても改善しない場合、リンク速度の最小値、最大値を同じ設定にする速度固定モードにすることで改善する可能性があります。

◆ Ethernetリンクが確立しない

- 1) 各コネクタとケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 2) モデムとのネゴシエーション設定が合っていない可能性があります。接続する端末とモデムのネゴシエーションの設定を確認してください。
- 3) Ethernetポートが無効になっている可能性があります。モデムの設定を確認してください。

11 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

- 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
- 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます。
- 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
- 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間:

ご購入日より **3ヶ月間** (弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応)

製品保証期間:

ご購入日より **1年間** (お預かりによる修理対応)

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
(修理できない場合もあります)

 - 6) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 7) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 8) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合

- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社

カスタマサポート

TEL 0570-060030

E-mail support@hytec.co.jp

受付時間 平日 9:00～17:00